右に入って小滝２つを越える。このあとすぐ水がなくなり，尾根に上がった。

（記

［タイム］　滑沢出合(8:40)→二俣(8:45)→沢終了(10:50)→尾根(11:00)

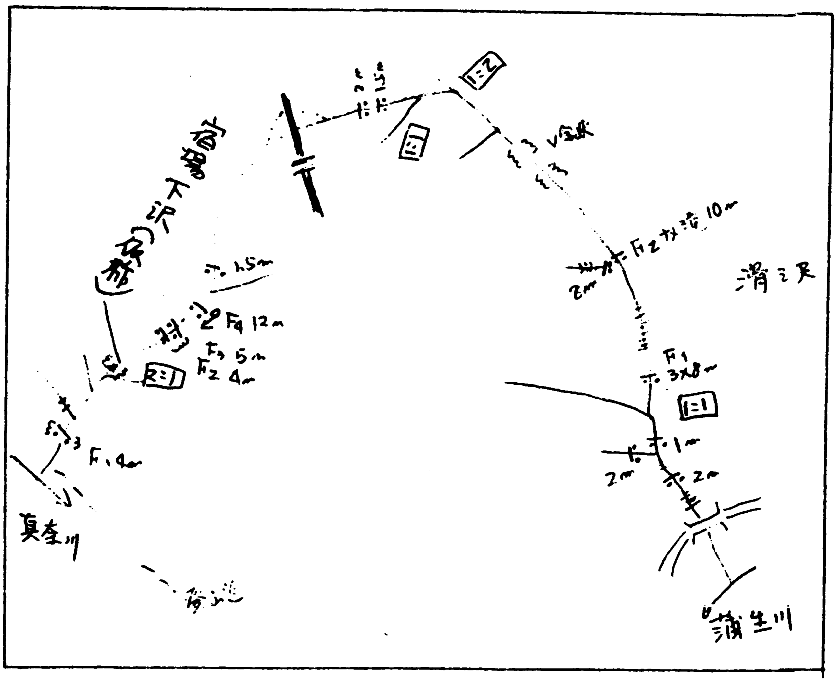
真奈川支流宿場下沢（仮称）

1994年7月31日
L

滑沢右俣の遡行を終え，尾根上で小休止してから下降に移る。すぐに水流が出てきて，小滝。その後左から沢が入り12mの滝となる。左岸を懸垂で降る。続く５mと４mの滝は，難なく降りられる。その先でこの沢の本流に出た。

本流はＶ字峡のようになっているが，沢そのものは単調である。右岸から２本の支沢を合わせると４mの滝。沢は深くえぐれていて，廊下のようである。左右両岸とも10mほどの高さはあろうか。この滝を降るとまもなく真奈川本流に出た。アブの攻撃を避けながら，左岸の登山道に上がる。　（記・

［タイム］　尾根(10:20)→源頭(11:30)→真奈川本流(12:40)


宿場下沢(仮称)
1.5m
F4 12m
F3 5m
F2 4m
2:1
F1 4m
真奈川
1:1
1:2
V字峡
F2 大滝 10m
2m
滑ミ沢
F1 3×8m
1:1
1m
2m
2m